



新町西再開発に反対している 新町西地権者の「生の声」

新町西再開発 「ムダな事業 止めてほしい」「百五十四億円のうち百二十五億円が市民負担 税金のムダ使い」などなど、この計画に反対する市民の声が、私ども日本共産党徳島市議団にも連日、続々と寄せられています。この「新町西再開発反対の声」は、再開発の対象地区内からも挙がっています。再開発は、こつした「反対する地権者」を、「地権者の三分の二の同意」があれば、徳島市も入った「組合」が、「法を盾」に強制的に立ち退かせることができる仕組み かつては、暴力団等が「地上げ屋」になり、反対者を立ち退かしていました。この「反対する地権者」は、「まじめにコソコソと営業」されている方々等です。この方々の声を、九月の日本共産党徳島市議団の「代表質問」(見田議員)で採りあげ、大きな反響を呼んでいますので、紹介しておきます。

こだわりの営業をしてきた…

正直に真面目に生活・営業しているのに

なぜ追い出すのか

私は、新町西再開発の開発区域から「私の店」を除外するよう、終始一貫して求めている地権者の一人です。

創業して三十二年、この地に新築

して十周年を迎

えました。他店

が八時間働けば

自分は十時間働

き、他店が十時

間働けば十二時

間働く という

ように、創業し

て最初の十年間は無休で営業して



きました。また店舗建物について、建設業者とアメリカまで足を延ばして構想を立て、現地で部材を輸入し建築しました。ソフト面でも、他店と違った個性でやってきました。このように、自分自身で「こだわりの経営」をしてきました。

この地に居を構え、店を構えて、家族一丸となって生計を立て、子や孫まで、将来を見据えた計画で努力してきました。周りの誰にも迷惑や損害を与えたこともなく、正直に真面目に生活し、営業活動し、むしろ地域に貢献していると自負しております。家族が幸せに暮らしているのに、なぜ、この計画に取り込まれなければならないのか？ 今まで一生懸命築き上げてきた生活権、営業権、財産権が侵害されることは許されるべきではなく、また、精神的に受けるストレスには耐え難いものがあります。こ



「意見書」の提出は10月2日まで

新町西再開発計画案の公告・縦覧が、九月十八日～十月二日まで、市役所(都市政策課)で行われています。この計画案への「意見書」提出期限は十月二日。「意見書」には、住所・氏名さえ書けば、決まった形式はありません。多くの方が「反対意見」を提出されるよう、呼びかけています。なお、一人一枚の用紙にお書きください。

〒770-08702 徳島市幸町二丁目五番地徳島市議会内 日本共産党徳島市議団へ「意見書」を、十月二日必着でお送り下さ

ば、責任を持って提出致します。

なお、わからない点がありましたら、私・加戸の携帯(090-3782-13364)へご連絡下されば と思います。

この地が気に入ら、愛着があり、ここで生活を成り立たせています。



この開発区域に組み込まれることを拒否していますが、ここを動かさなければ、組合や徳島市は私たちを、村八分のように追い出すのでしょうか？

再開発の情報、全く知らず！

関係の無いものを

巻き込まないでほしい

私は、この度の新町西再開発に反対している地権者の一人ですが、ある日突然、新聞に再開発の記事が出ました。止めたはずの事業と思い込んでおりましたので、驚きと戸惑いをどうすることもできないで、毎日を暮らしてきましたが、何にも関係の無い者を、巻き込まないでほしいと思います。



強行に進めるのならば、これは本当に、死活問題だと思えます。今まで、長い間かけて、生活設計を立ててきましたので、ここから離れる気はありません。どうか皆さんも、ご自分の事だと思って、お考えくださいますように、お願いいたします。



とも、この問題が起こったばかりに気まずくなり、人間関係まで壊してしまう市政でよいのでしょうか。不安でなりません。是非もう一度、考え直して頂きたいと思えます。よろしくお願いたします。

三代にわたって商売

再開発区域から除いて

私は三代にわたって、戦前より新町西一丁目目で商売を営んでおります。

この度の新町西再開発は、音芸ホールが目的で、再開発の大切な目的の集客力はないと思われま。中途半端な商店街をつくっても、今の時代、高い家賃を払い、従業員の給料を払い、高い共益費や電気代を払って、やっていく商売はありません。



この度の再開発は賛成者だけである、という説明でしたが、反対している我々も、再開発区域に組み込まれております。除いてほしいのです。

が責任をとってくださるのでしょうか？ もう一度、よくお考え頂き、都市計画決定を中止して下さい。

一生懸命頑張り守った

土地と創業百年の店

再開発には絶対反対

徳島新聞の『読者の手紙』「私は亡き父母に、一生懸命頑張り守った土地と創業百年の店を託された、再開発事業予定地の地権者です。再開発には当初から絶対反対の立場です。再開発には問題点が多く、賛同できる絶対的な理由がない。どんなにいい条件を示されても同意しない。地権者は再開発賛成者だけでなく、当初から絶対反対の者も、私を含めてかなりいます」



マスコミ報道でしか

情報を知ることができない！

私は、新町西再開発の計画区域で商売している地権者です。音芸ホールを建て、年間を通して、いったいどのような催し物をするのでしょうか？本場にこれ、人は戻ってくるのでしょうか？『活性化』はできるのでしょうか？私は、この地区に、毎日多くの人が集まってくるのが『活性化』と思っております。

現在進められている再開発事業の音芸ホールは『活性化』という意味においては、見当違いではないですか？音芸ホールで、本場に人は戻ってくるのでしょうか？

新聞報道等で完成予想図も拝見しました。しかし、これらの情報は、私どもには伝えられていませんでした。私どもには、報道でしか情報を知ることができないのです。こんな事業に、百五十億円もの税金を使つて、やるだけの価値があるのでしょうか？

今回の再開発事業について、私どもは詳しい説明を求めましたが、「都市計画が決定しないと説明できない」との返答。まるで、法の網をかけてでないと、説明はしない」としか感じられません。

今現在の状況では、私はこの事業に反対します。こんな事業に、多額の税金を使うのは、おかしくありませんか？もつと徳島市民のためになるように税金は使つべきです。

